

第3次刈谷市観光推進基本計画

令和6(2024)年度～令和15(2033)年度

目指す観光の将来像

知れば知るほど好きになる!

伝えよう わがまち 刈谷

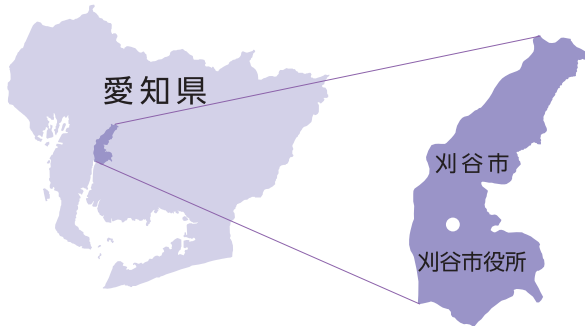
本計画で目指す本市の観光の将来像は、市民・団体・事業者・行政が、自ら地域資源を知り、磨き上げ、情報を発信し、来訪者を受け入れるといったシビックプライドを育む一連の活動が、主体的に行われている姿です。それらの活動を推進することにより、さらにまちが活性化し、より魅力が向上し、訪れる人、関係する人が増えていくといった好循環が、将来にわたって持続することを目指します。

まずは、市民をはじめ刈谷に関わる一人ひとりが本市のこと(魅力や課題)を「知る」ことがその第一歩です。

次に、地域の活性化や課題の解決に取り組むことを通じて、誇りや愛着が生まれます。

そして、行政や観光協会、事業者、団体による情報発信だけでなく、市民をはじめ刈谷に関わる人自らがSNSや口コミで発信することにより、さらに刈谷に関わる人が増えるといった、波及効果が期待できます。

《本市位置図と概要》



項目	内容(令和6年1月1日現在)
面積	50.39km ²
人口	152,948人
世帯数	69,144世帯
観光入込客数	9,167,093人(2022年)
主な観光施設	刈谷ハイウェイオアシス (7,151,000人 県内1位!) 刈谷市交通児童遊園 (1,327,692人 県内13位!)

刈谷市の観光が抱える課題

令和4年度に実施した各種調査や策定委員会での意見などに基づき、本市が抱える観光に関する課題を以下の4つに整理します。

課題(1) 「刈谷市の観光」というイメージづくりと方向性

課題(2) 刈谷らしさの発見・磨き上げ

課題(3) 刈谷市への来訪を促す効果的な情報の収集・発信

課題(4) 持続的な発展を下支えする推進体制の整備

基本方針1 刈谷らしい魅力の磨き上げ・ブランド化

刈谷らしい魅力として、「歴史・文化」、「自然・公園」、「イベント・集客施設」、「ものづくり・産業」、「スポーツ・芸術文化」、「食・グルメ」の6つに整理し、それぞれの魅力を磨き上げます。



グルメ企画の充実



イベントの充実



魅力あふれる公園づくり



ものづくり観光の推進



伝統文化・祭り文化の
魅力向上



ホームタウンパートナー
チームとの連携



公共空間の活用を促進
活用する担い手の育成



保存会等へのサポート



民間事業者等との連携

基本方針3 持続可能な連携と推進体制の構築、担い手の育成と連携

市内の観光の担い手が増え、市民やまちづくり団体、保存会等の活動が継続できるような支援をするとともに、市民が自ら魅力を発信しやすい機会を提供し、それらを支える推進体制を整えます。

観光が目指す将来に向けた取組の基本方針

知れば知るほど好きになる! 伝えよう わがまち 刈谷

基本方針1～3により、歯車が円滑に回ること
で、「目指す姿」を実現します。



テーマごとの
情報紙の発行



投稿キャンペーンや
フォトコンテストの開催



SNSでの積極的な発信



3つの基本方針を推進することで生み出す効果

- シビックプライドの高まり
- 観光を通じた交流の活性化
- 関係人口の増加

※関係人口:移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉

各主体の役割



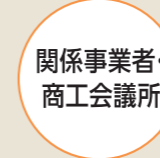
行政(市)

- ・計画の管理、推進、基盤整備、財政支援、制度設計、広域連携



観光協会

- ・観光資源の発見、磨き上げ、プロモーション
- ・各主体間の連絡調整役



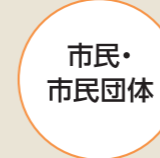
関係事業者・
商工会議所

- ・各事業分野での観光施策への協力
- ・積極的な情報発信・共有
- ・おもてなしの推進



大学・学生

- ・学生の観光イベント・企画への参画・協働



市民・
市民団体

- ・観光に対する関心及び理解
- ・友人知人への推奨
- ・SNS等を活用した観光情報の発信
- ・活動やイベントへの参画

刈谷市の「観光」とは？

【刈谷市で観光？】市内外問わず、多くの方が刈谷市の観光に対して持つ印象は、このようなものかも知れません。

たしかに本市は、多くの自動車関連企業がその拠点を置く「工業のまち」としてのイメージが強く、夜間人口より昼間人口が多いことから、「遊びに来るまち」というより「働きに来るまち」というイメージを多くの方が持っています。

しかし、全国有数の来場者数を誇る刈谷ハイウェイオアシスをはじめ、文化・スポーツなどに関するイベントやお祭り、子どもと一緒に楽しめる公園も数多くあり、市内企業へのビジネス目的での訪問も含め、県内でも屈指の来訪者数となっています。

本市においては、すでに来訪している人に、体験や食、市民との触れ合いを通じて、魅力を感じてもらうことで、より長い滞在やより多くの来訪へとつながることが期待できます。

また、本市に関係した人がその魅力を発信することで、これまで来たことがない人や知らなかった人にも魅力が伝わり、観光として来てもらえる人、または関係してもらえる人が増える可能性があると言えるのではないのでしょうか。



計画の達成目標

指標	現状値(R4年度)	目標値(R15年度)	指標の取得方法
観光入込客数	9,190千人	12,393千人	業務データ(毎年実施)
刈谷の魅力を友人などに勧めたいと思う市民の割合	47.3%	60.0%	市民意識調査
誇りや愛着を感じている市民の割合	64.0%	79.5%	市民意識調査
地域資源をいかした観光振興への満足度	15.4%	20.4%	市民意識調査

第3次刈谷市観光推進基本計画(概要版)

発行:2024(令和6)年3月 発行者:刈谷市 市民活動部 文化観光課
〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地
電話番号:0566-23-1111(代表)